

第2回交渉 年末手当要求の満額回答を!!

会社側の情勢説明と、当社の将来像について議論

11月13日、本部は申第3号「年末手当要求」(3.29ヶ月分、12月4日支給)の第2回交渉を行った。会社側からは、第2四半期決算の概況、景気動向など取り巻く情勢の説明があり、上半期の当社における好調な業績に対する社員への感謝とともに、この先の生産人口減少などを含む、楽観視できない情勢のなか、慎重な判断が必要との説明があった。

これに対し組合側からは、日本の経済状況は「いざなぎ景気」を超えていると言われ、回復基調がつづくなかで、この先、2020年開催のオリパラ景気に繋げていくためにも、大変重要な時期でもあり、経済の好循環を創り出そうという、それが社会の目標となっている。その中で、私たちはJR産業の発展とともに、当社がその存在感を示していくべきだと訴えた。そのためにも、労働力の確保、構成年齢も激変してく状況にある中で、しっかりしたビジョンを描き、示しながら、社員のモチベーションを高めることの必要性を訴えた。あわせて、安全と信頼こそが当社の生命線である、といった基本的考え方を強く主張し、会社側からも、発展ある将来を考える上でもしっかり対応していくとあった。

**しっかりした「ビジョン」を示すこととあわせて
年末手当に対する社員の期待にしっかり応えよ!**